

## 【知事定例記者会見】 1月23日

- 県立大学検討の具体化をともに進める「専門家チーム」のリーダーが決まりました  
「専門家チーム」のリーダーは、立教大学 経営学部長の山口和範氏。佐賀県富士町出身、佐賀西高校、九大を卒業。

副総長として大学経営の経験があり、データ教育の専門家。

- いよいよ今年開催 SAGA2024

SAGA2024 は、SSP構想の一つの大きな通過点であり飛躍点。国スポ、全障スポ後も、スポーツで様々な感動を与え、世界のスポーツシーンをけん引したい。

今年は、夏に北部九州で開催するインターハイ、パリのオリンピック・パラリンピックがあり、秋はSAGA2024。日本中、世界中がスポーツイヤー。その中で、SAGA2024を輝かせたい。

大会まで256日。新しい大会として、様々な初の試みを取り入れた。大会コピーは、「新しい大会へ。すべての人にスポーツのチカラを」と、特産品などを入れていない。開閉会式は、自由な選手団入場。吉岡徳人さんの芸術的な炬火。個人表彰にメダル授与。全障スポでは、伴走者にもメダルを授与する。また、唐津市のバスケットボール、佐賀市のバレーボールをナイトゲームで開催する。仕事帰りも観戦できる大会にしたい。

県民の皆さんには、「Sagantier!」というボランティアとして参加をお願いする。佐賀県民が、一同に盛り上がる大会にしたい。「Sagantier!」の応募締切りは2月末日。

4月21日からデモンストレーションスポーツが始まる。ウォーキングやアジャタという玉入れ、スポGOMIなど28競技、いろんな体験ができる。2月1日から順次募集開始。ウェブ版を見て、自分に合ったスポーツを見つけ参加してほしい。

競技者のための食事レシピ集を作った。スポーツ栄養学のエキスパートが監修した低カロリー、高たんぱくの29献立。デジタルブックもある。食でSAGA2024を支えたい。

3月9日にSAGA2024大団結集会を行う。主催者、市町、「Sagantier!」、全障スポのサポーターなどが集まる。一般参加も可能。

佐賀工業高校のラグビー部は、準決勝で東福岡に負けたが、ベスト4。佐賀東高校のサッカー部はベスト8。ラグビーもサッカーも、ベスト8内の県立高校は佐賀県だけ。公立高校が、唯一無二の教育づくりをしている成果。

佐賀から新しいスポーツ文化を切り拓いていく。

- 名護屋からはじまる歴史・文化体験

先日、コーエー社長のシブサワ・コウさんと対談し、名護屋城のすばらしさを再確認した。

2月1日から「信長の野望」とのコラボ周遊サインを設置。周遊サインは、全63か所。佐志交差点には、7mの大型歓迎塔が設置される。

陣跡の周遊スタンプラリーでは、武将エピソードサインを巡って「信長の野望」コラボ限定グッズがもらえる。プレゼントの内容は、後日発表数する。

第3回名護屋城大茶会を3月23日に開催。コロナが5類になり、本来想定していた内容に近づける。これまでのお茶、鷹、能に加え、書、華、器、お酒、旗頭、食など幅広い分野で文化の交流が、名護屋城で行われていたことに焦点を当てる。

秀吉は、ここで仮装大会も開いていたらしい。コスプレファンにも集まってもらいたい。羽田美智子さんも当時の時代衣装で登場する。

また、人間スタンプラリーを企画した。小西行長、徳川家康、前田利家、島津義弘の武将隊メンバーが持っているハンコを集めると特製缶バッジがもらえる。

秀吉のプライベートな茶室である草庵茶室を復元し、名護屋城博物館に展示する。黄金の茶室と草庵茶室、両方の持ち味を楽しんでいただきたい。

150もの武将が集まった名護屋城の多様な日本文化を堪能してほしい。上場の交差点の名前が、それぞれ変わっていく。例えば、ひばりヶ丘は徳川家康別陣跡入口になる。

- スポーツクライミングジャパンカップ2024

多久市で、2月10日～12日にボルダー、23日～24日にリード、25日にスピードの3種類のジャパンカップが開催される。3種類が、同じ場所で開催されるのは大会初。

スポーツクライミングは、かごしま国体でも競技別優勝した。観戦は無料なので、目の前で楽しんでもらいたい。

- がん検診受診率上昇中！みんなでつなごう がん検診の輪

平成28年から公費で、中学3年生にピロリ菌検査・除菌を実施。これが、受診率上昇のきっかけになったと推測している。子どもの検診には保護者の理解が必要なため、その際に家族の間で、がん検診の大切さが広がっているのだろう。また、県内登録医療

機関なら、どこでもがん検診ができることや啓発活動に力を入れたこともあり、がんの検診受診率が上昇した。

佐賀県の胃がん検診率は、平成28年は19位、令和4年が7位。隣県に比べ圧倒的に検診率が高い。同時に、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がんも検診率が伸びた。

中学3年生へのピロリ菌事業の成果が現れるのは、30年後になる未来へのプレゼント事業。県民の皆さん方の理解が得られ、広がりにつながった。

- 没後150年特別展 江藤新平

江藤新平は、日本の国家制度の基礎をつくった。東京遷都の建白書の提出、国民皆教育や裁判制度を導入するなど、明治維新の制度設計を担った。佐賀戦争での刑死から復権させなければいけない。復権運動の第一歩として特別展を開催する。

3月15日～5月12日まで。

- SAGA INNOVATORS TALK LIVE 2024 Spring 開催！

佐賀県は、人へ投資する。大きな特徴は、個別支援を行っていること。3月19日にイノベーターを集結し、実例についてのプレゼンをSAGAプラザで行う。

- 佐賀県総合プロモーション in バンコクを実施します

2月1日～3日に、8年ぶりに総合プロモーションをバンコクで実施する。タイからの来訪者は、映画のロケ誘致をきっかけに増加。コロナ禍でもタイフェスをを行い、関係強化を継続した。

今回は、シリントーン王女陛下に謁見し、鍋島焼を献上する。2月2日には、キーパーソンの200名を招待し、総合的なプロモーションパーティーを開催する。

マレーシアでも佐賀を題材にしたドラマが大ヒットしている。今後、佐賀のプロモーションが広がるよう意見交換をしたい。